

東中川小学校

校長名	小坂 一郎	QRコード 
所在地	〒544-0001 大阪市生野区新今里7-14-37	
電話番号	06-6752-2865	
FAX番号	06-6751-8675	
HPアドレス	https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671488	

主な学校行事

4月	入学式、対面式、始業式、全国学力・学習状況調査（6年）、家庭訪問、学習参観・学級懇談会
5月	遠足
6月	運動会、プール開き
7月	東中川子どもまつり、個人懇談会、地域合同防災避難訓練、プール納め、終業式、学びの教室（夏休み）
8月	始業式
9月	自然体験学習（5年）学習参観・学級懇談会
10月	就学時健康診断、全校遠足、修学旅行、芸術鑑賞会
11月	作品展・学習発表会（隔年）
12月	学力経年調査（3～6年）、個人懇談会
1月	始業式
2月	卒業遠足、学習参観・学級懇談会
3月	卒業を祝う会、卒業式、修了式

教育目標

豊かな心をはぐくみ、自ら学び、体力づくりに励む子どもを育てる

令和5年度全国学力・学習状況調査

平均正答率（％）	国語	算数
	61	59

結果概要

【国語】領域別の正答率を見ると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」は8.2P、「情報の使い方に関する事項」は8.1P、「話すこと・聞くこと」は1.6P、「書くこと」は2.8P、「読むこと」は3.8Pそれぞれ全国平均を下回る結果となった。このような結果の中、「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える」設問の正答率については全国平均とほぼ同じであった。

【算数】正答率を見ると、「数と計算」は3.2P、「図形」は7.4P、「変化と関係」は2.4P、「データの活用」は1.7Pそれぞれ全国平均を下回る結果となった。

一方、「伴って変わる二つの数量の関係について考える」設問、「2位数÷1位数の筆算について図を基に商の意味を考える」設問については全国平均を上回る結果であった。

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

種目別平均値

性別	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	合計得点
男子	15.70	20.07	28.50	37.18	48.36	9.25	159.60	20.04	49.67
女子	14.43	16.78	32.42	37.87	38.83	9.43	151.21	13.71	53.86

結果概要

●男女ともに8項目のうち4項目で全国平均を上回る結果となった。また、体力合計点では男子は大阪市・全国平均を下回ったが、女子は大阪市平均を上回った。

男女ともに「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」において大阪市・全国平均を上回ったが、「握力」「長座体前屈」では男女ともに下回った。

●質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」では、男女ともに大阪市・全国平均を上回っている。特に男子では肯定的な回答が100%であった。

●1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合については、男子は25.9%と高く、全国・大阪市平均を大きく上回る結果となった。女子は



標準服



重点目標

- 子どもが安心して成長できる安全な学校、家庭、地域の実現
- 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

東中川タイム（短時間学習）を設定し、算数プリントを中心とした基礎基本の定着を行っており成果が表れつつある。引き続き、基礎基本の定着に重点を置いて取り組みを進めていく。習熟度別少人数指導や学力向上支援サポーターによる支援により個に応じた指導や放課後学習での苦手な課題の復習を行った。国語科の文章読解や漢字の書き取り、算数科の記述式の問題に対する理解は低い傾向がみられる。引き続き、児童の課題に応じた指導、課題の更なる工夫が必要である。家庭学習や読書が定着していない児童が依然として多くみられるため、取り組み方を提示するなど、支援の工夫や家庭への啓発を引き続き行っていく。また、自主学習への取り組みも進めていく。

また、基本的な生活習慣の確立や自尊感情を高める取り組みについては、家庭と連携した取り組みを計画していく必要がある。

17.4%で、全国・大阪市平均とほぼ同じだが、0分と回答する児童が17.4%と高かった。

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

- 各学級にボール、大縄を配布し、休み時間に自由に使えるようにしている。また、竹馬と一輪車を使いやすい位置に設置していることから使用率が高い。
- 「元気もりもり週間」を設定し、かけ足週間やなわとび週間を設けている。そのため、休み時間には友だちと誘い合い、なわとびに取り組んでいる児童が多くみられる。
- ゲストティーチャーを招き、運動の楽しさや友だちと協力したり励まし合ったりすることの大切さを継続して実感させる活動を行っている。
- 「シナプソロジー」を活用し、低・中学年からの計画的な体力向上に努めている。
- 体育の学習をきっかけとして、体を動かすことの楽しさを実感できるような動機付け、工夫が必要である。委員会活動を利用したの運動の紹介や啓発、家庭や地域との協力も必要である。

校長先生のメッセージ

本校は、令和6年度に創立86年目となる歴史ある小学校です。校区は広く15町会の組織があります。子ども達の安全・安心の取り組みとして、登下校見守り隊や、子どもネットワークによるキャンプ、遊び場開放など「地域の子ども」を育てる取り組みが充実した地域です。学校の教職員は研究活動や生活指導を、一生懸命頑張っています。

運営に関する計画

計画のエッセンス

- 学力向上、体力向上、生活指導、人権教育、多文化共生教育を主軸に具体的な取り組みを設定しています。
- 一人ひとりの子どもを大切に、思いやりの心や規範意識、自尊感情を育てる温かみのある教育活動をめざしています。

中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の20%以上にする。
〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を69%以上にする。
〔前年度 68.8%〕

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

学校行事「魅力あふれる様々な行事」

運動会をはじめ、入学式、学習発表会、卒業式、全校遠足、子どもまつり、芸術鑑賞会など東中川小学校には様々な行事があります。子どもたちが楽しく学校生活を送るために教職員が協力して行事の運営にあたっています。また、学期に1回の避難訓練に加えて、毎年1回地域と協力して地域防災避難訓練も行っています。子どもたちが安心安全に過ごせるための取り組みも充実しています。



特色ある学習活動

学校の環境Ⅱ「太陽の下で生き生き学習活動」

玄関ホールをぬげると、季節によっていろいろな花や野菜などを学年ごとに育てることができる「学習園」が広がります。5年生が米作りを体験する田んぼもあります。ベンチとテーブルがある「ふれあい広場」では、休み時間に友だちと話したり、学習したりとゆったりすごせます。6月になるとプール学習が始まります。屋上にある広いプールで楽しく学習しています。



特色ある学習活動

学校の環境Ⅰ

「様々な学習ができる充実した施設」

講堂の向かいには東中川小自慢のミーティングルーム、玄関にはピロティがそれぞれあります。ミーティングルームには、「ロビー」「和室」「ホール」の3つの施設があり、「ロビー」は少人数でじっくり学習でき、「和室」は畳に座って読書やグループ学習ができます。ホールは大人数での学習や集会や発表会等、多目的に使えます。また、玄関ピロティは、子ども達のコミュニケーションの場として使われています。



家庭・地域等との連携

見守り隊「毎日、安心と安全をありがとう」

毎日50名以上の地域の方々が、子ども達が安全に登校できるように見守ってくださっています。「おはよう」「朝ごはんしっかり食べたか」「信号を守ろうね」子ども達の顔を見ながら優しく話しかけ、遅れてきた子を学校まで送り届けてくれています。地域防災避難訓練でも子ども達を学校まで安全に誘導するなど活躍しています。学校では、日ごろお世話になっていることへの感謝の気持ちを忘れないように、見守り隊の方々との交流会を行っています。

